

2 最年少会員

九州派も結成以来 41 年を経て、会員 8 名が既に鬼籍に入り、健在の会員も高齢となり、大患を得た人もおり、筆者も本年 69 歳となった。装束不明の会員もあり、気になる訳である。

九州派には、3 人の高校生がいた。前項の楢取稔氏と菅原陽子、小野充子両嬢で或る。この稿を書くに当たり、楢取氏に九州派入会の動機とその当時の学年を聞いてみた。楢取氏は、百道中学 3 年の時、福岡県展へ初入選し、東福岡高校 1 年の時にも県展へ入選した。その際に、桜井孝身氏に九州派入会を勧められて入会したとのことである。同じ時期に、当時、百道中学の美術部の先生であった、大神敏子さんも入会されたということであった。

序であるが、大神さんの御父君は、画家平島信氏であり、青木繁の友人で、佐賀県立小城中学の先生であり、青木を援助された人である。大神さんから以前伺った話では、大神さんの御姉さんに大層な美人がおられ、青木との縁談があったが、青木が結核で斃れたので、結婚に至らなかったことである。

菅原、小野両嬢は当時、福岡中央高校の学生であったが、何年生であったかは覚えていない。高校卒業と同時に九州派を退会されたのではないかと思われる。筆者がパリ滞在中の 1962 年か 63 年頃、菅原嬢が、外人を連れて筆者の留守宅を訪ねて来られたということを帰国後聞いていた。両嬢のその後の消息は不明であるが、どの様な歩みをされたか気にかかることである。